

# 国民大運動行動報告

第032号  
2019年  
10月17日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」  
国民大運動実行委員会  
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内  
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～ 第200臨時国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 10・16 定例会国会行動～

## 被災者生活再建支援法の抜本的な早期改善を！



右端より、日本共産党の藤野保史衆議院議員、主催者挨拶をおこなう中央社保協代表委員の住江憲勇保団連会長

内外の経済状況が悪化するなかで消費税10%増税が強行された直後の10月4日、第200臨時国会が開会されました。12日には、9月に引き続き台風19号が東日本を広範囲で襲い、各地で甚大な被害が広がっています。

犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆さまに心からのお見舞いを申し上げます。

そのようななか、10月16日、三者共催による定例会国会行動が、新婦人の河村玲子中央常任委員の司会によっておこなわれ、150名が参加しました。

当日は、今月末にも政府与党による法案提出が見込まれる、「給特法の一部を改正する法律案」教員の「一年単位の変形労働時間制」導入に反対する行動が緊急に取り組み、全国からの教職員も参加しました。

国会では、台風19号による災害への対応について、野党が15、16日の参議院予算委員会の延長を求めていましたが、与党はこれを拒否し1時間の追加審議を行うことを決めました。被害の全容が明らかになるにつれ、迅速な対応が求められています。

また、この間の関電「原発マネー」疑惑、日本郵政によるNHK報道への圧力・介入、文化庁の「表現の不自由展」への補助金不交付など、安倍政権の責任が問われる問題も噴出しています。

参加者は、政府が被災者のくらしと生業の再建を最優先におこなうように声をあげるとともに、消費税増税中止と改憲を許さず、市民と野党の共闘で安倍政権を一日もはやく退陣させる決意を固めました。

発言した各団体の代表は、犠牲になられた方々への心からの哀悼の念と被災された方々へのお見舞いを述べた上で、次のように訴えました。

主催者を代表して挨拶を行った**中央社保協の住江憲勇代表世話人(全国保険医団体連合会会長)**は、被災者生活再建支援法の抜本的改善は急務だとし、その上でこの臨時国会での焦点として、消費税増税、日米 FTA、改憲、全世代型社会保障検討会議、日韓問題、安倍政権の組閣内容、の 6 点を強調。安倍政権が進めるのは「大企業や富裕層への富の集中のための消費税増税と社会保障改悪」であり「今の格差拡大社会を克服するためにどうすればよいのか、国民から突きつけられているのがこの臨時国会だ」とし、大きな怒りで包囲しようとしてよびかけた。



国会情勢報告を行った**日本共産党の藤野保史衆議院議員**は、地元である決壊した千曲川の避難所のようなすを報告するとともに、与野党を超えて、いのちに関わる緊急の課題として対策に取り組む決意を表明。こうしたなかでの消費税増税、関電による「原発マネー」還流疑惑についても「皆さんの運動があって野党共闘をさらに進めている」と報告。歴史を都合のよいようにねじ曲げる安倍政権の改憲を絶対に許さず、「皆さんの運動と声で野党共闘をさらに進め、安倍政権を退陣に追い込もう」とよびかけた。



3名の代表が決意表明を実施。**農民連の吉川利明事務局長**は、13日から各地の会員の安否、被害状況の確認のため、皆で手分けして被災地に入っていることとともに、宮城や福島での水害による畜産や収穫期の稲等農業への大打撃を報告。損害を受けた収穫後の保管している新米には何の補償もないことをあげ「従来の枠を超えた支援策が求められる」と強調。このような状況下での日米貿易協定の閣議決定を強く批判し「こんな屈辱的な協定を批准させないために頑張る」と決意を述べた。



**全教の檀原毅也書記長**は、過労死ラインを越えて働く教員の実態改善のための「せいふやそうキャンペーン」を報告。現場の願いに背を向け、今月末に安倍政権が提出しようとしている「一年単位の变形労働時間制」について、長時間過密労働を見えなくする悪質な狙いがあることを明らかにし、「子どもたち、教育の未来のためにも、全国の連帯で導入を許さないたたかいを拓め、政治の流れを大きく変えよう」と強くよびかけた。

**日本医労連の鎌倉幸孝副委員長**は、公立・公的病院への再編・統合の再検証を要請する 424 の病院名を厚労省が公表したことに対し、「現状の実態を反映したものではなく、現場で働く医師や職員のモチベーションを下げる不適切なものだ」と強く批判。「地方切り捨ての公立・公的病院の再編・統合の再検証要請を撤回させ、OECD 加盟国最低の医師数を大幅に増やし、地域医療を守るために全力をあげる」と決意を述べた。



**安保破棄中実委の東森英男事務局長**は、「被災者支援、生活再建のたたかいは緊急を要し、消費税増税による国民生活破壊に対するたたかいは重要だ」と強調。重要課題が山積するなか、「何より国民投票法改正と改憲論議入りを断じて許さず、閉会まで、職場、地域から運動を拓げ、安倍政権を大きく包囲しよう」とよびかけ、行動提起をおこなった。

行動のおしまいに、**自治労連の小原徹也中央執行委員**による音頭で、国会に向けて参加者全員でシュプレヒコールを行った。



今後のとりくみ日程(10月17日~)

- 10月17日(木)13時~ 憲法・いのち・社会保障を守る10・17国民集会@日比谷野音  
主催:保団連・民医連・中央社保協・医労連・医療生協・自治労連・福保等の実行委員会
- 10月18日(金)12時15分~13時(その後議員要請)「1年単位の变形労働時間制」導入を許さない  
緊急国会行動&署名提出行動 第2議院会館前 主催:全労連/全教
- 10月19日(土)15時~ 「19日行動」総がかり行動 議員会館前
- 10月22日(火・祝)13時~ 日米地位協定の抜本改定学習交流集会 全労連会館  
主催:安保破棄・憲法共同センター
- 10月25日(金)12時~ 年金者一揆@日比谷野外音楽堂 14時15分~ 銀座パレード
- 11月3日(日)14時~ 11・3 憲法集会in国会正門前  
主催:総がかり行動/全国市民アクション/3・1朝鮮独立運動100周年キャンペーン  
\* 憲法共同センターは南庭前



第200臨時国会(12/9閉会予定) 今後の定例国会行動の予定です。

12:15~13:00 衆議院第2議員会館前 隔週の水曜日

10月30日、11月13日、11月27日